

第122回城山地区まちづくり会議全体会結果

日 時：令和8年3月19日（木）

午後7時～午後9時

会 場：城山総合事務所本館2階B会議室

出席者：19名（欠席4名）

傍聴者：2名

1 開 会 内山所長

2 代表あいさつ 林代表

3 議 題

（1）地域の居場所づくりについて

事務局から資料1に基づき、住民交流の場「和い輪い田名」視察の結果についての報告があった。その後、城山地区における居場所づくりについて検討を行った。

〈 主な意見 〉

- ・常設の施設であるため、運営側としてもやりやすいと思うし羨ましい環境が整っていると感じた。また、土曜日にも営業しているため、子どもたちが遊びに行ったりボランティアとして事業に携わったりしやすいところも良い点だと思う。
- ・40人のスタッフがいて、午前と午後、それぞれ3人ずつシフトを組んで営業している。人間関係でうまくいかなかった場合も、40人中で相性を考えて配置しているため、継続的に運営できている一つの要因だと思う。
- ・施設の広さもちょうどいいと感じた。広すぎず狭すぎず、運営しやすいと思うし、小上がりの和室も子どもたちの遊び場や乳幼児の居場所に適しており、素晴らしい環境だと感じた。また、立地についても、道路沿いであり目立つ場所なので良いと思う。
- ・駄菓子屋の機能もあるが、高齢者施設に出張して駄菓子を販売するなど、良い取組をしている。
- ・学校も近いので、学校帰りに子どもたちが寄ったりしやすいというところも良い点である。また、スタッフの方々が楽しそうにやっており、自分達の居場所でもあるとおっしゃっていたのが印象的で素晴らしいと感じた。
- ・地域の居場所というのは、各地区に様々な形態で存在はしているが、目的

が限られたものであり、誰でも参加できる居場所はない。「和い輪い田名」は田名地区社会福祉協議会の1つの部会として行っている事業であり、理想的であるが、社協のような公共的な団体が主導でやらないとなかなか前に進むものではないと思う。場所の確保にしても、公共的な団体が調整をしたから物事が前に進んだのではないかと感じている。

- ・この「和い輪い田名」を利用し、活動に携わってきた中学生が、子どもたちで運営する社会福祉協議会を作ろうとしているという話を聞いた。驚くべき発想だと思ったが、社協の大人たちがボランティアを募って事業を実施している姿を見て、かっこいいと感じたから動いているのだと思うし、子どもたちにそういう思いを抱かせた社協の方々は素晴らしいと感じた。良い教育にもなっていると思う。
- ・ごちゃ混ぜ、多文化共生の施設になっており、地域の財産だと思うし、城山でも同様の取組ができれば素晴らしいと思う。
- ・リーダーの方が、他のスタッフと同じように自ら動き、汗をかいて運営に携わっているところが印象的だったし、運営が軌道に乗るまで、地域や学校にお願いするなどの調整に苦慮したのだろうなと思った。
- ・学校のPTAから理解を得ているところも素晴らしいと思った。PTAが好意的に活動を指示してくれれば、子どもたちの利用にも繋がると感じた。
- ・規約が少なく、スタッフが自由な発想で運営できているところ、失敗しても構わないというスタンスでやれているところが良いと思う。

(2) 次期城山地区まちづくり会議の構成団体について

林代表から、4月18日に開催した有識者選考委員会の結果について説明があった。第9期の城山地区まちづくり会議委員については、引き続き有識者として金子委員、片倉委員、そして新たに菊地委員に参加していただくこととなり、今まで有識者として参加していただいていた本野委員は、教育関係の枠として引き続き参加をしていただくこととなった。

(3) 令和8年度の取組について

令和8年度開催日程について、事務局から資料2に基づき説明された。また、第9期城山地区まちづくり会議委員の選出について、資料3のとおり事務局から各団体の代表者に依頼文が送付されている旨、説明がされた。

《 主な意見 》

- ・令和8年度は、今後のまちづくり会議の運営について、運営のあり方や今後の活動の方針を協議したい。部会のあり方も含めて議論をしたいと考えている。

(4) 城山地区で具現化していく取組について

子どもたちの主体性を育む地域づくり部会での検討事項の説明がされ、全体会終了後に部会で検討を行い、部会検討終了後にそれぞれ解散となる旨説明があった。

5 閉 会 高野副代表

以 上

【全体会終了後の各部会での検討内容】

●子どもたちの主体性を育む地域づくり部会

モルックを活用して子どもたちを集めて行ってきた取組について、来年度以降の取組内容を検討した結果、来年度についても地域活性化事業交付金を活用して事業を実施することとし、事業内容はこれから部会で検討して決めることとなった。

《 主な意見 》

- ・モルックを活用して行ってきた事業について、城山体育振興協議会に事業継続をお願いできないか、検討している状況である。
- ・城山体育振興協議会としては、モルックを広げていき、子どもから高齢者まで楽しめる場を提供したいと考えている。その際、まちづくり会議委員の協力をお願いしたい。
- ・モルックの事業を実施する場合、周知方法が大事になってくるが、今までのように紙媒体でチラシを配る方法だけではなく、来年度は子どもの保護者がアプリを活用して情報を取得するようになるので、その媒体を使って周知することが可能になる。
- ・部会で育ててきたこの事業について、別の団体に引き継いで継続をお願いするのは必要なことだと思うので、部会でバックアップをしながら、無理のないかたちで継続できたらいいと思う。
- ・子どもたちの主体性を育む地域づくり部会ということで、主体性を育むというテーマは今の事業内容では達成はできないと感じている。ただ、今までやってきたモルックを活用した事業については、地域間交流や世代間交流を促進するものであり、子どもの居場所づくりに繋がる内容になっているので、継続していくことは大事だと思う。今後の部会のあり方も考えていく必要がある。
- ・なるべく手のかからないかたちで事業を継続できるよう、部会がサポートしながら新たな担い手となりうる団体に引き継いでいくことが必要である。

- ・高校生にも参加をしていただいたが、地域の人たちと接点を持つことができる、地域の人たちが考えることを知ることができる、という効果が高校生にもあった。また自分達の今までの経験をその事業の場でどう活かすか、臨機応変に対処する力の向上や、皆さんに褒めてもらえたり感謝してもらったことで自己肯定感が上がり、他の活動への参加意欲も高まったと感じており、この事業の意義はあると思う。
- ・地域活性化事業交付金については、内容をこれから検討していくが、申請する方向で良いと思う。
- ・モルックを教えてくれる人の派遣があれば、年に7回ある小学校のクラブ活動として位置付けて普及することも可能である。
- ・多世代交流を促すモルックを事業として実施することが、居場所づくりに繋がっている。高齢者向けに行うことが多い居場所づくりを、全世代向けでやろうとしているこのまちづくり会議の活動はとても意義のあるものであり、学校や自治会、いろんな団体を跨いで協力する体制があるので、継続していくべきだと思う。

以 上

第122回城山地区まちづくり会議出欠席者名簿

任期: 令和6年4月27日～令和8年4月26日

番号	分野	団体名	役職等	委員氏名	出欠
1	地域関係	城山地区自治会連合会（会長）	代表	林 和博	出席
2		城山地区自治会連合会（副会長）		中野 秀人	出席
3		城山地区自治会連合会（副会長）		安西 勝正	欠席
4		城山地区自治会連合会（川尻小学校区）		神藤 元	出席
5		城山地区自治会連合会（湘南小学校区）		高橋 章	欠席
6		城山地区自治会連合会（広陵小学校区）		渡辺 政茂	出席
7		城山地区自治会連合会（広田小学校区）		渋谷 隆	欠席
8	保健・福祉関係	城山地区社会福祉協議会	副部長	小島 盛生	出席
9		城山地区民生委員児童委員協議会	副代表	菅野 敬子	出席
10		城山地区シニアクラブ連合会		阿部 晃三	出席
11		相模原市赤十字奉仕団城山分団	部会長	宗田 真理子	出席
12		城山地域包括支援センター		林 多加史	出席
13	産業・経済関係	城山商工会		平栗 文夫	出席
14		城山観光協会		櫻井 かおる	出席
15	防犯・防災関係	安全・安心まちづくり推進協議会城山支部		杉本 直宏	出席
16		相模原市消防団北方面隊		田野倉 隆彦	欠席
17	教育関係	城山公民館運営協議会	副代表	高野 朝枝	出席
18		城山体育振興協議会		樋口 保	出席
19		城山地区小中学校長情報連絡会		嵯山 浩人	出席
20		特定非営利法人城山スポーツ&カルチャークラブめいぶる		片倉 理恵	出席
21		神奈川県立相模原城山高等学校		樋口 一孝	出席
22	有識者		部会長	金子 直美	出席
23				本野 直子	出席

出席者数 19人

欠席者数 4人

第122回城山地区まちづくり会議 全体会次第

日 時 令和8年3月19日（木）
午後7時

会 場 城山総合事務所本館
2階B会議室

1 開 会

2 代表あいさつ

3 議 題

(1) 地域の居場所づくりについて ……資料1

(2) 次期城山地区まちづくり会議の構成団体について

(3) 令和8年度の取組について

ア 開催日程について ……資料2

イ 第9期城山地区まちづくり会議委員の選出について ……資料3

・資料2、3について、各選出団体の代表者に送付しております。

(4) 城山地区で具現化していく取組について（部会検討）

4 閉 会

<次回の予定>

第123回全体会

4月30日（木）午後7時

城山総合事務所
本館2階B会議室

住民交流の場「和い輪い田名」視察の結果報告について

1 日時

令和8年3月11日（水） 午後1時～午後3時30分

2 場所

和い輪い田名

3 出席者

まちづくり会議：中野委員、小島委員、阿部委員、宗田委員、林（多）委員、
櫻井委員、高野委員、片倉委員、金子委員、本野委員

事務局（城山まちづくりセンター）：内山所長、中里副主幹、金丸主査、船橋主査

4 結果

○「和い輪い田名」は、田名地区社会福祉協議会の1つの部会として実施している事業である。令和3年8月にオープンしており、事業を実施するにあたり地域福祉推進会議を立ち上げ、検討を重ねた。

○蕎麦屋だった店舗が、空き店舗になっていたのでその場を住民交流の場にできないかオーナーに相談したところ、事業内容に共感していただき、快く場の提供をしていただくことになった。

○社会福祉協議会、民生委員、自治会連合会経験者、一般公募等で人を集め、運営している。40人のスタッフが携わっており、スタッフの平均年齢は70歳を超えているが、皆やりがいを感じており、スタッフの居場所にもなっている。

○スタッフの体制は3人で、午前と午後で入れ替わるかたちである。

○利用者は利用料100円を払って飲み物3杯まで飲むことができる。

○活動内容（駄菓子屋、編み物等）によってそれぞれ担当者がいて、担当者が工夫をしてより良いものにしている。

○年に2回、学校の長期休みに「こどもたちの日」という催しを実施しており、様々な企画を考えている。田名小学校、田名北小学校にチラシを配っており、PTAのLINEグループでも周知をしている。新宿小学校は少し遠いので周知はしていない。

○子どもが10名ほどボランティアとしてスタッフ側で活躍している。高齢の利用

者が子どものスタッフと交流できて楽しいと評判である。

- 田名小学校、田名中学校、相模田名高校、愛川高校の学生と様々な交流をしている。
- 相模田名高校の茶道部にお茶会を開いてもらったところ、とても評判が良かったので、飲み物のメニューに入れようか検討している。
- 利用者は女性が多い。1人で来る利用者もたくさんいる。1日平均で18人程度、混む日だと20人を超える。
- 利用者を誘ってスタッフになってもらうこともある。
- いろんな企画をやっているが、スタッフは失敗してもいいのでチャレンジしてみる、というスタンスでやっている。自由な発想でやっており、楽しくやることができている。規約はほとんどない。
- お茶菓子担当、ライスバーガー担当など、それぞれ分担して仕入れを行っている。
- 駐車場はないので、基本的には徒歩で来れる人が来ている。高齢者施設の入所者が車の送迎で来ることもある。
- 令和3年のオープン当初は、地区社協の本会計から資金を出してもらい、開設準備や運営の安定化に協力してもらっていた。今はお金は出してもらっていない。
- ボランティアセンターも併設されており、その関係で補助金や家賃補助が出ている。
- 市の社協からも補助金をもらっている。企業からの賛助はない。
- 不登校の子どもが学校の先生の紹介で試しに利用してみたが、その子の居場所となり、今はスタッフとして生き生きと活動している。子どもとその父親と一緒に来て感謝してくれ、スタッフの喜びにもなった。
- 発達障害の利用者への対応に悩むことがあったが、市にお願いして出張説明会をしてもらった。理解が深まり、スムーズに対応できるようになった。

令和8年度（2026）城山地区まちづくり会議の開催日程

作成：令和8年3月4日

1 全体会

回次	月	日時（予定）	内容	主な内容（予定）	場所	備考
第123回	4月	30日（木）午後7時	全体会	・R8地域活性化事業交付金事業意見聴取について	城山総合事務所 本館2階B会議室	
第124回	5月	28日（木）午後7時	全体会	・まちづくり会議について ・次期総合計画概要説明 ・具現化していく取組について（部会検討）		
第125回	7月	30日（木）午後7時	全体会	・まちづくり会議について ・R8まちづくりを考える懇談会のテーマについて ・具現化していく取組について（部会検討）		
第126回	9月	24日（木）午後7時	全体会	・R8まちづくりを考える懇談会のテーマについて ・次期総合計画内容議論 ・具現化していく取組について（部会検討）		
第127回	11月	26日（木）午後7時	全体会	・R8まちづくりを考える懇談会のテーマについて ・具現化していく取組について（部会検討）		
/			まち懇	・R8城山地区まちづくりを考える懇談会	城山公民館 1階大会議室	
第128回	1月	28日（木）午後7時	全体会	・R8城山地区まちづくりを考える懇談会の振り返り ・具現化していく取組について（部会検討）	城山総合事務所 本館2階B会議室	
第129回	3月	18日（木）午後7時	全体会	・R9開催日程について ・次期総合計画意見集約 ・具現化していく取組について（部会検討）		

2 専門部会

基本的に全体会と同時開催。ただし、必要に応じ別途開催する。

令和 8 年 3 月 1 2 日

写

城山地区まちづくり会議
各構成団体 代表者 ●● 様

城山地区まちづくり会議
代 表 林 和 博

第 9 期城山地区まちづくり会議委員の選出について（依頼）

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃から、城山地区のまちづくりにつきましては格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、城山地区まちづくり会議では、各種地域活動団体などの皆さまにご参画いただき、地域課題の解決や魅力あるまちづくりを進めておりますが、第 8 期委員の任期が本年 4 月 2 6 日をもって満了となることから、改めて貴団体からまちづくり会議委員をご選出いただきたいと思います。

なお、選出に当たりましては、多角的な視点や多様な見識などの観点から幅広い年齢や男女共同参画にもご配慮くださいますようお願いいたします。

つきましては、別紙に必要事項をご記入いただき、選出期限までに事務局へご報告いただきますようお願い申し上げます。

- | | |
|---------|---|
| 1 人 数 | 1 人 |
| 2 報 酬 | 無報酬 |
| 3 委員任期 | 2 年 |
| 4 選出期限 | 令和 8 年 4 月 1 5 日（水） |
| 5 提出方法 | 郵送、F A X など |
| 6 そ の 他 | 選出期限までに委員の推薦が困難な場合は、恐れ入りますが事務局までご連絡をお願いいたします。 |

以 上

事務局 相模原市緑区役所
城山まちづくりセンター
総務・地域振興班
担当 船橋
電 話 042-783-8117
F A X 042-782-1290

(別紙)

令和8年 月 日

城山地区まちづくり会議 代表 殿

団体名 _____

代表者職氏名 _____

連絡先電話番号 _____

第9期城山地区まちづくり会議委員の選出について（報告）

標記のことについて、次のとおり報告します。

	ふりがな 氏名	住所	電話番号
1			